

「（仮称）函館市デジタル変革推進ビジョン（案）」に対する  
パブリックコメント（意見公募）手続の実施結果について

案 件 名	（仮称）函館市デジタル変革推進ビジョン（案）
募 集 期 間	令和6年（2024年）2月8日（木）～3月8日（金）
担 当 課	企画部地域デジタル課
意見提出者数	個人2名（4件）／法人1団体（10件）

○「（仮称）函館市デジタル変革推進ビジョン（案）」に対する意見の概要と市の考え方

※意見の概要については、原文を要約および分割しております。

No.	意見の概要	市の考え方
1	関連する市の計画など全体を俯瞰できる「ビジョンの位置づけ」が必要ではないか。	いただいたご意見を踏まえ、「ビジョンの位置づけ」について追記いたします。
2	函館市デジタル化推進本部には、情報化統括責任者CIOや最高情報セキュリティ責任者CISOが示されていないが、迅速かつ効果・効率的にめざす姿を実現するには、CIOなど責任者の明記が必須ではないか。任命されていない場合は、検討が必要ではないか。	函館市デジタル化推進本部につきましては、市長を本部長としており、CIO等は任命しておりませんが、いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。
3	めざす姿について、10分野が網羅的に規定されているが、少子・高齢化など急速な社会変化や函館市の財政などの状況を考えると、重点分野を決め、めざす姿に対応した具体的取組と工程表を設定する必要があるのではないか。	本ビジョン（案）は、本市のデジタル変革を推進する方向性を示すものであり、具体的な事業内容は記載しておりませんが、いただいたご意見につきましては、今後、ビジョンに基づく取組を進めるにあたり、参考とさせていただきます。
4	近年のスポーツトップ層には、映像やITを駆使したプレーの分析が必須になっているが、物的・人的なコストが高く、学生・アマチュアチームは導入をあきらめてしまっている現状がある。このことからスポーツの大会や合宿を誘致する際に他の地域との差別化を図る材料として、共有オンラインプラットフォームによるプレー分析を提供してはどうか。	市ではこれまでもスポーツ大会や合宿の誘致に取り組んできているところであり、いただいたご意見につきましては、今後、ビジョンに基づく取組を進めるにあたり、参考とさせていただきます。

No.	意見の概要	市の考え方
5	<p>人口減少・税収減の対策として、ヒトやモノを他業種間でシェアする形は必須だと考えられる。例えば、幼稚園バスは、朝夕の園児の送迎の他は活用されていない時間が多いが、日中は小・中学校のプール授業の送迎、夜は団地と銭湯間の送迎などに活用できるのではないか。そこから得られる収益は少子化が進む中での幼稚園の新しいビジネスの一つになりえる。ただし、幼稚園単体では他業種との連携が難しく、また、運用できるバスが一台では制約が多く、サービス利用者も不便になる。市でデジタルプラットフォームを作り、そこでバスを提供する側と利用する側を結びつけることを検討してはどうか。</p>	<p>バスの運転手などの人手不足は本市の課題となっており、いただいたご意見につきましては、今後、ビジョンに基づく取組を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>
6	<p>ホテルや空港などからQRコードなどを用いてアクセスできる観光サイトのアイデア。特徴はAI技術を用いて、その観光客の国籍や性別などから判断した最適な情報を提示できる点にある。予約時などの情報から自動でQRコードを生成し、ホテルでそれを渡す形にすればホテル側も観光客自身も入力の手間が省け、利用しやすいものになるのではないか。函館には未来大学など優秀なAIを作れる環境が整っており、実現できるのではないか。</p>	<p>観光産業における生産性の向上は本市の課題となっており、いただいたご意見につきましては、今後、ビジョンに基づく取組を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
7	<p>現状では市民が直接デジタルデバイスを扱う前提の施策は、大きなデジタルデバイドを引き起こしてしまうことが予想されるため、「インターネットとBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）のハイブリット戦略」を検討してはどうか。例えばオンデマンドバス（乗合タクシー）であれば、スマホアプリ等からの配車を導入したうえで、別途オペレーターを用意し、電話での受付も可能とすれば、利用者はタクシーの電話予約のような使い慣れた手段でも利用することができるし、オペレーター分の新たな雇用も創出できるのではないかと。</p>	<p>デジタル変革を進めるうえでは、誰もがデジタルの利便性を享受できる環境づくりが重要であることから、デジタルデバイス対策をビジョンに位置づける予定であり、いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>市内企業のDXが進まない理由として、「何を、どうやって良いかわからない」ということがあげられる。グループウェアや電子契約、オンライン会議などのサービスを共通化しシェアして使うため、中小企業向け「函館共通DX基盤」を函館市のオリジナル基盤として地元信用金庫や地元大手IT企業などが提供し、市は助成金により中小企業を支援してはどうか。</p>	<p>市ではこれまでも市内中小企業のDXに取り組んできているところであり、いただいたご意見につきましては、今後、ビジョンに基づく取組を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>
9	<p>円安が進む中で、仕事と観光を兼ねたインバウンド（訪日外国人旅行）のワーケーション需要が増えてきている。函館市の特徴を活かし、インバウンドワーケーションの最も多いソフトウェア開発を職業としている客をターゲットとし、「観光」・「自然」・「DX人材交流」をプラスした「函館DXワーケーション」に取り組んではどうか。</p>	<p>市ではこれまでもワーケーションの促進に取り組んできているところであり、いただいたご意見につきましては、今後、ビジョンに基づく取組を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>

No.	意見の概要	市の考え方
1 0	<p>若者の人口流失にともない、保育士、看護師、介護士、ヘルパーなどが高齢化しており、子育て環境の維持も困難な状況が、近い将来課題となりえる。動画を中心とした見せるコンテンツの時代であることを踏まえて、函館市が現在運営している「函館しごとネット」と別に、動画世代のUターン、Iターン人材確保を目的とした動画求人サイトを制作・運営してはどうか。</p>	<p>人手不足や若者の地元就職は本市の課題となっており、いただいたご意見につきましては、今後、ビジョンに基づく取組を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>
1 1	<p>道南地区の未就職者は、函館を就職先として選択することが昔に比べて減少しており、函館の生産労働人口の減少に歯止めがかかっていない。さらに函館の企業やサービスの維持も将来困難になる可能性が高いことから、動画を中心とした見せるコンテンツの時代であることを踏まえて、函館市が現在運営している「函館しごとネット」と別に、学生等、動画世代の未就職者の確保を目的とした動画求人サイトを、制作・運営してはどうか。</p>	
1 2	<p>道南地区の未就職者は、函館を就職先として選択することが昔に比べて減少しており、函館の生産労働人口の減少に歯止めがかかっていない。さらに函館の企業やサービスの維持も将来困難になる可能性が高いことから、動画を中心とした見せるコンテンツの時代であることを踏まえて、函館市が現在運営している「函館しごとネット」と別に、「将来函館で働こう」という子供専用の動画サイトを、制作・運営してはどうか。</p>	

No.	意見の概要	市の考え方
1 3	<p>現在、局所的に行われている食品リサイクルループ（コンビニで発生した食料廃棄を肥料・資料に変換するという取組）を函館市内のコンビニにも推奨し、そのための効率的なシステムの構築と食品リサイクルを行う会社の誘致を検討してはどうか。</p> <p>効率的なシステムはAIなどを用いた売り上げ予測による廃棄削減とコンビニにおける廃棄入力のリアルタイム監視に基づいた最適な食品廃棄回収トラックの台数とルート算出アルゴリズムを用いたものであり、他社コンビニ間でのデータの共有は現実的ではないため、システムの運用は市の役割となる。</p>	<p>市ではこれまでも食品ロスの削減に取り組んできているところであり、いただいたご意見につきましては、今後、ビジョンに基づく取組を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>
1 4	<p>中国からの旅行者は事前に購入する商品とお店を調べしているケースが90%以上といわれている。さらにお店を選択する際に電子マネーが使えるお店が選ばれることが多いが、函館市では外国人旅行者が電子マネーを利用できるお店が少ない。</p> <p>海外電子マネーを利用するお店の登録は簡単にできるし、クレジットカード決済のように専用のカードリーダーも必要なく、登録の際に出力されたQRコードを読み込むだけでよいので、函館市の支援を受けたコールセンターが、お店からの問い合わせに対して、電子マネーの説明と注意事項を説明したのち、海外の電子マネーを利用するお店の登録代行を行うなど、海外電子マネーを利用できる店の支援に取り組んでどうか。</p>	<p>市ではこれまでも外国人観光客の誘致に取り組んできたところであり、いただいたご意見につきましては、今後、ビジョンに基づく取組を進めるにあたり、参考とさせていただきます。</p>

意見等を考慮した結果の修正案	「1. 策定の背景」を「1. 策定にあたって」に修正し、「本ビジョンの位置づけ」を追加いたします。
結果の配布場所	企画部地域デジタル課（市役所本庁舎6階）
お問い合わせ先	企画部地域デジタル課 TEL 0138-21-3627 FAX 0138-23-7604 E-mail : chi-digi@city.hakodate.hokkaido.jp